

## 学位論文審査基準

### 【土木】

理工学研究科 土木工学専攻

項目	課程/論文	基準
主論文を構成する論文の条件	課程博士	2 編以上(「掲載決定」を含む)。 <b>First Author</b> であることを原則とする。 (1)内 1 編は土木学会論文集またはこれと同等のレフリー付き論文集に掲載の論文を含むこと。 (2)レフリー付きプロシーディングスも 1 編と数える。
	論文博士	3 編以上(「掲載決定」を含む)。 <b>First Author</b> であることを原則とする。 (1)内 1 編は土木学会論文集またはこれと同等のレフリー付き論文集に掲載の論文を含むこと。 (2)レフリー付きプロシーディングスも 1 編と数える。
博士学位にふさわしい学力確認の基準(学位論文の内容に係る審査条件)	課程博士	申請論文の審査及び質疑を通して授与(判定)時までには次のことを確認する。 (1)当該専門領域に対する十分な知識。 (2)申請論文の位置付け・周辺分野に対する十分な理解。 (3)申請論文に長所・短所等の特徴に対する十分な理解。
	論文博士	申請論文の審査及び質疑を通して授与(判定)時までには次のことを確認する。 (1)当該専門領域に対する十分な知識。 (2)申請論文の位置付け・周辺分野に対する十分な理解。 (3)申請論文に長所・短所等の特徴に対する十分な理解。 ・英文要旨に基づき申請者が十分な学力を有していることを確認する。
国際化に対応する研究者としての能力確認の基準	課程博士	申請論文の審査及び質疑を通して授与(判定)時までには次のことを確認する。 (1)当該分野の国際的研究レベルから見て申請論文が十分な獨創性・新規性を持つ。 (2)申請者が国際会議の発表に耐えうる高いプレゼンテーション能力を有する。
	論文博士	申請論文の審査及び質疑を通して授与(判定)時までには次のことを確認する。 (1)当該分野の国際的研究レベルから見て申請論文が十分な獨創性・新規性を持つ。 (2)申請者が国際会議の発表に耐えうる高いプレゼンテーション能力を有する。 ・英文要旨に基づき申請者が国際化に対応する研究者としての資質を有していることを確認する。
在学期間短縮に係る基準	課程博士	(1)主論文を構成する論文の条件は 3 編以上(「掲載決定」を含む)。 <b>First Author</b> であることを原則とする。 (2)3 編の内 1 編は土木学会論文集またはこれと同等のレフリー付き論文集に掲載の論文を含むこと。さらに、1 編は国際雑誌掲載論文(前文の論文が国際雑誌掲載論文の場合はそれと同一でも構わない)或いは国際会議等のレフリー付きプロシーディングス、を含むこと。ここにおける国際雑誌には、日本で出版されている英文雑誌も含む。 (3)レフリー付きプロシーディングスも 1 編と数える。 (4)学内・学外での研究活動実績で学識が担保されていると考えられること。